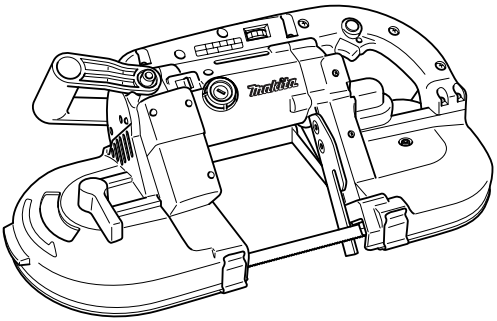
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

ポータブルバンドソー

回 モデル 2107F
(無段変速)



回
二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要のない製品です。
このマークを表示した製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、又は準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**ポータブルバンドソー**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

モデル / 主要機能	2107F
電動機	直巻整流子電動機
電圧	単相交流 100V
電流	7.5A
周波数	50-60Hz
消費電力	710W
周速	0.8m/s（50m/ 分）～ 1.6m/s（100m/ 分）
最大切断能力	丸パイプ 120mm、角パイプ 120mm × 120mm、丸棒 30mm
	スタンド取付時 丸パイプ 115mm、角パイプ 100mm × 100mm、丸棒 30mm
機体寸法	長さ 508mm ×幅 188mm ×高さ 256mm
質量	6.3kg

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-4

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠警告

安全作業のために：
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

3. 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4. 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で､子供の手の届かない安全な所、又は錠のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。
- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⚠警告

10.防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11.集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 電動工具に集塵機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12.コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13.材料を加工する工具では、加工する材料をしっかりと固定してください。
- 加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（加工する材料を動かす製品は除く。）

14.無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15.電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、又は弊社営業所に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16.次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 使用しない、又は修理する場合。
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。

17.調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

18.不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19.屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠警告

20.油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

21.損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、又は弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、又は弊社営業所に修理を依頼してください。
- スイッチで始動及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22.正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書及び弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23.電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、又は弊社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ポータブルバンドソー安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ポータブルバンドソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB118-1

⚠警告

1. **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
・ 埋設物があるとソーブレードが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3. **使用中は、本体を確実に保持してください。**
・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
4. **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検、修理を依頼してください。**
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
5. **誤って落としたり、ぶつけたときは、ソーブレードや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

1. ソーブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. ソーブレードおよび取り付け面の切粉などを拭き取ってください。
・ ソーブレードが、はずれたり、折れたりして、けがの原因になります。
3. 使用中は、ソーブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
・ けがの原因になります。
4. 作業直後の、ソーブレード、材料、切粉は大変熱くなっていますので、触れないでください。
・ やけどの原因になります。
5. ソーブレードで、コードを切断しないように注意してください。
・ 感電の原因になります。
6. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
7. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。

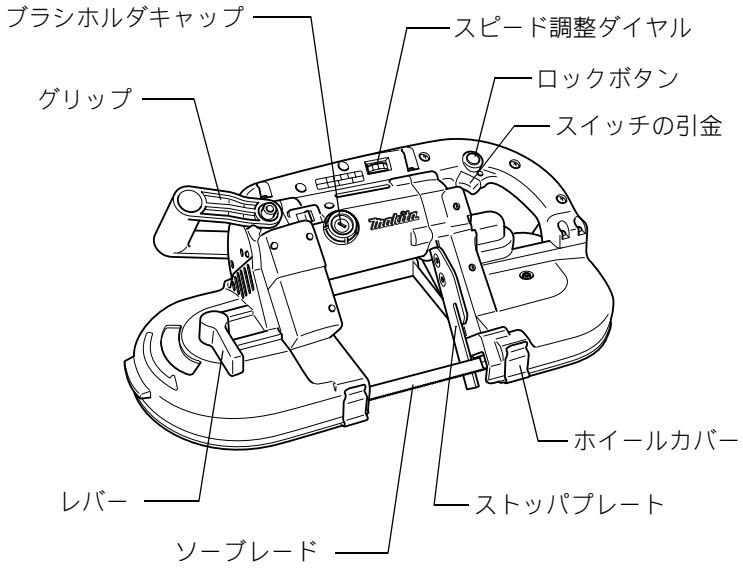
注

・ 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
0.75mm^2	20m	—	—
1.25mm^2	30m	15m	10m
2.0mm^2	50m	30m	20m

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ソーブレード (SK.18 山 / インチ)
- 六角棒レンチ 4
- カッティングワックス
  部品番号 191897-9
- レンチホルダ 3.4

別販売品のご紹介

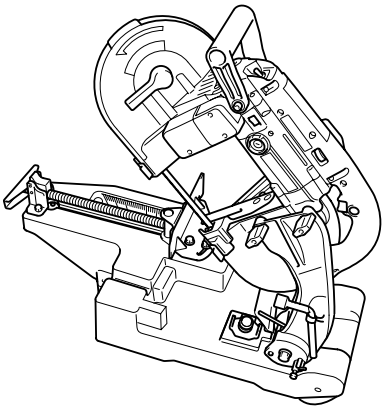
・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙掲載の直営事業所へお問い合わせください。

種類	ブレード (山 / インチ)	部品番号	適応切断材料 (厚さ mm)									
			ガス管、ライニング鋼管、丸鋼、形鋼、電線管			アルミ、真ちゅう、塩ビ管			電線ケーブル	ステンレス、硬鋼		
			5 以上	4 ～ 5	4 以下	5 以上	4 ～ 5	4 以下		5 以上	4 ～ 5	4 以下
SK (3 本入)	14	A-26222	●	—	—	●	—	—	●	—	—	—
	18	A-26238	—	●	—	—	●	—	●	—	—	—
	24	A-26244	—	—	●	—	—	●	●	—	—	—
BIM (1 本入)	14	A-26250	●	—	—	●	—	—	●	●	—	—
	18	A-26266	—	●	—	—	●	—	●	—	●	—
	24	A-26272	—	—	●	—	—	●	●	—	—	●

・ ソーブレードは、切断される材料の厚みに対し、2 山以上の歯がかかるものをご使用ください。
・ 上の表は目安です。切断される材料に応じて最適なソーブレードを選定してください。

・ ポータブルバンドソースタンド
(平バイス式)
部品番号：194025-5
ポータブルバンドソーを取り付けて使用します。安全で効率的な作業ができます。

・ セーフティゴーグル（保護メガネ）
部品番号：191686-2



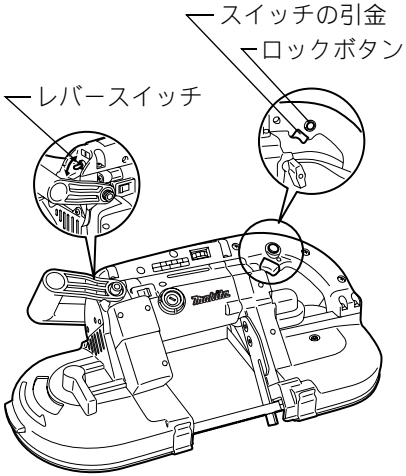
使い方

スイッチの操作

⚠警告

電源にプラグを差し込む前に、レバースイッチとスイッチの引金の両方が切れていることを必ず確認してください。
・ スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動き出し、事故の原因になります。

・ レバースイッチを「I」(ON) 側に倒した状態でスイッチの引金を引くと起動し、離すと停止します。
・ 引金を引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。
・ 停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。



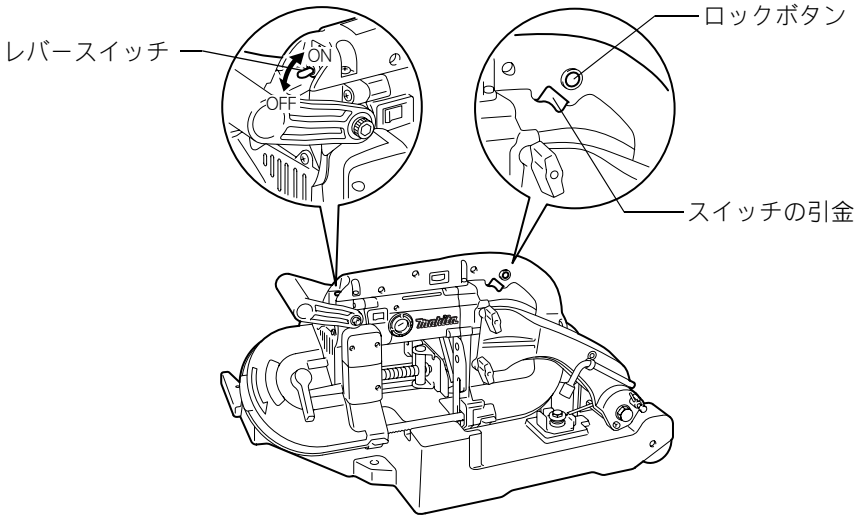
注

・ レバースイッチが「O」(OFF) 側に倒れていると、スイッチの引金を引いても運転しません。スイッチの引金で運転操作するときは、レバースイッチが「I」(ON) 側に倒れていることを確認してください。
・ 必ずスイッチの引金で本機の起動、停止を行ってください。

ポータブルバンドソースタンド（別販売品）に取り付けて使用する場合
・ 本機はレバースイッチとスイッチの引金（トリガ）の両方を ON 状態にすると起動します。
・ レバースイッチが「O」(OFF) 側に倒れていることを確認します。
・ スイッチの引金をいっぱいに引いてからロックボタンを押し込み、スイッチの引金を引いた状態で固定します。
・ この状態でレバースイッチを「I」(ON) 側に倒すと起動し、「O」(OFF) 側に倒すと停止します。

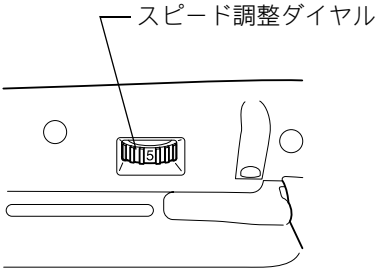
注

・ 必ずレバースイッチで本機の起動、停止を行ってください。



スピード調整ダイヤルの操作

・ スピード調整ダイヤルを回すことにより、回転数が自由に変えられます。
・ スピード調整ダイヤルを「5」側に回すと高速回転、「1」側に回すと低速回転になります。
・ スピード調整ダイヤルの 1 ～ 5 の数値間の回転数の目安は下表のとおりです。



注

・ **スピード調整ダイヤルは 1 より下には回りません。また 5 より上にも回りません。無理に回しますと故障の原因になりますので、スピード調整ダイヤルは必ず、1 → 2 → 3 → 4 → 5 、5 → 4 → 3 → 2 → 1 の範囲で回してください。**

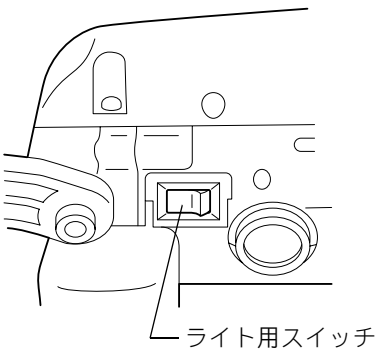
ダイヤル	1	2	3	4	5
材質	ステンレス		合金		炭素鋼

ライトの点灯

⚠注意

ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。
・ ライトの光が連続して目にあたると、目をいためる原因になります。

・ ハンドル部上部のライト用スイッチの「I」(ON) 側を押すと点灯し、「O」(OFF) 側を押すと消灯します。



注

- ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布等で拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
- ライトレンズ掃除の際はガソリン、シンナーなどで拭かないでください。レンズを傷めます。
- ライトの使用後は必ずスイッチの「O」(OFF) 側を押し、消灯してください。

蛍光管の交換

⚠警告

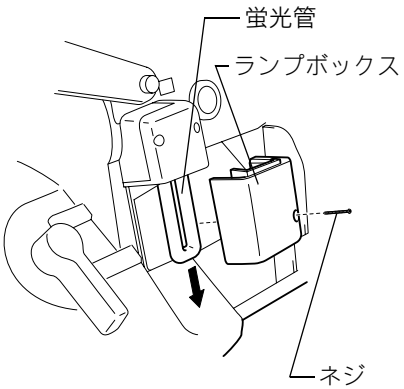
蛍光管の交換の際には、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

⚠注意

蛍光管に衝撃を与えたり、キズを付けないでください。
- ガラスが割れてケガの原因となります。

使用直後は蛍光管が熱くなっておりますのでしばらく放置してから交換してください。
- やけどの原因になります。

- ライトのランプボックス固定用のネジを外し、ランプボックスを取り外します。
- 蛍光管を引き抜き、指定の蛍光管に取り替えてください。



ソーブレードの取り付け・取りはずし方

⚠警告

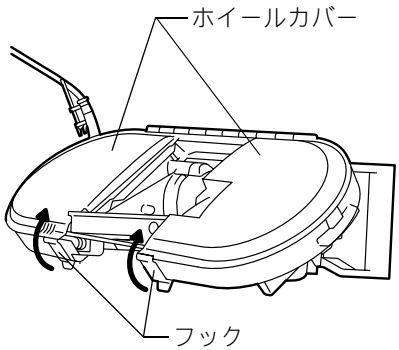
ソーブレードの取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。
- プラグを電源につないだまま行うと事故の原因になります。

取り付け方

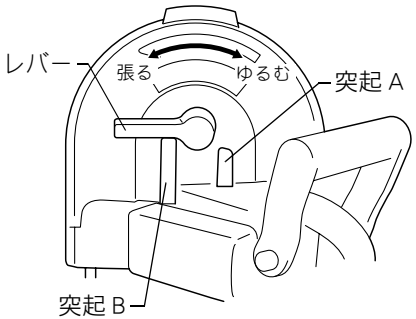
⚠注意

ソーブレードおよび取り付け面の切粉などを拭き取ってください。
- ソーブレードがはずれたり、折れたりしてけがの原因になります。

- ホイールカバーのフックを持ち両側同時に開けます。



- レバーをフロントカバーの突起Aに当たるまで右に回してください。



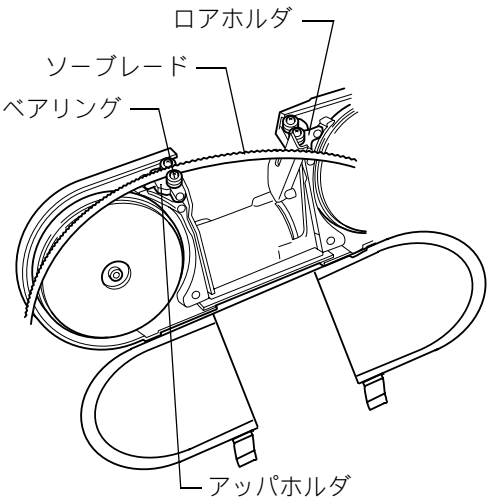
注

- **ホイールカバーは両側同時に開閉してください。片側だけ動かすとつなぎ部分がねじれて破損するおそれがあります。**

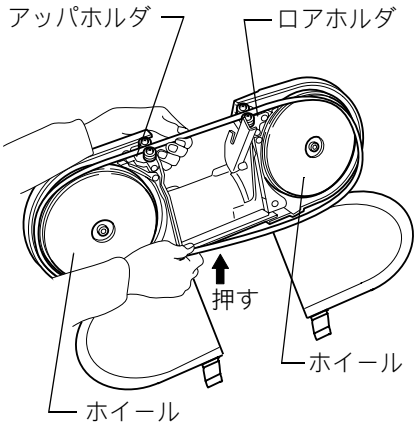
使い方

・ ホイールの矢印と、ソーブレードの矢印の方向を合わせてください。

・ ソーブレードを背の方からアッパホルダ（またはロアホルダ）に入れ、押えながらもう一方のロアホルダ（またはアッパホルダ）に入れます。それぞれ奥のベアリングに当たるまで入れてください。



・ ソーブレードをホイールに掛け、ホイールの底に当たるまでソーブレードの中央を押えながら入れ、順次反対側のホイールに入れてください。
・ ソーブレードがはずれないように押えながら、レバーをフロントホイールカバーの突起Ｂに当たるまで左に回し、ソーブレードを張ってください。
・ 電源を入れ、スイッチの入切を２～３回繰り返し、ホイール上をソーブレードが安定して走行することを確認してください。
・ ホイールカバーを閉じてください。



取りはずし方

⚠注意

ソーブレードが飛び出すことがありますので、本機を下向きにした状態で、レバーをゆっくりゆるめてください。
・ けがの原因になります。

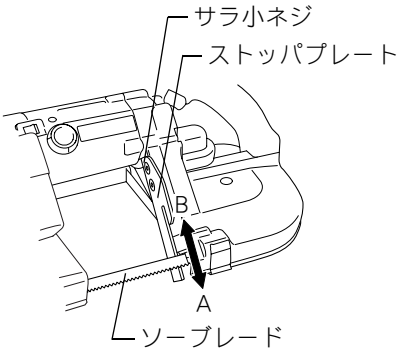
・ 取りはずすときは、取り付け方の逆の要領で行ってください。

ストッパプレートの出張り量調整

⚠警告

ストッパプレートの出張り量調整の際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。
・ プラグを電源につないだまま行うと事故の原因になります。

・ ストッパプレートは、ソーブレードに対する出張り量を調整できます。
・ 通常の作業では、ストッパプレートを図のA側に最大に出張らせて使用してください。
・ また、材料を切り終わる前に、ストッパプレートが壁などの障害物に当たる場合は、付属の六角棒レンチを使用してサラ小ネジ（2 本）をゆるめ、ストッパプレートを図のB側にずらしてください。
・ 移動後は必ずサラ小ネジ（2 本）を確実に締め付けてください。

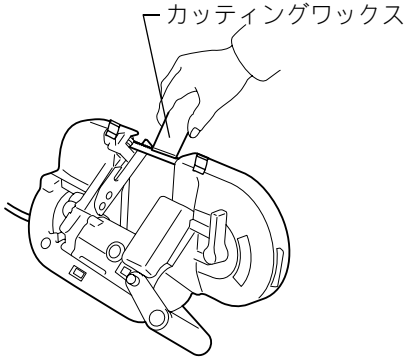


カッティングワックスの塗布

⚠注意

ソーブレードに液状の切削油をかけたり、ソーブレードの側面にカッティングワックスを多量につけないでください。
・ ソーブレードがスリップしたり、はずれたりし、けがの原因になります。

・ カッティングワックスは金属材料を切断する場合に使用してください。
・ 切断前に本機を回転させ、カッティングワックスのキャップをはずしたのち、ストッパプレートに当てケースごと切り込んで、ソーブレードの刃先にカッティングワックスを塗布してください。



注

・ **鋳鉄を切断するときは、カッティングワックスを使用しないでください。**

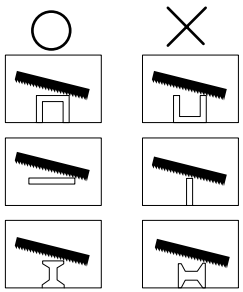
使い方

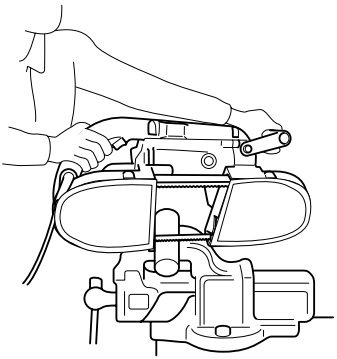
作業方法

⚠注意

切断中に本機を押えすぎたり、ソーブレードをこじったりしないでください。
・ 切断面が傾斜したり、ソーブレードの歯欠け、折損を生じ、けがの原因になります。

・ 材料に対して2山以上の歯がかかるような方向を選定してください。
・ ソーブレードが材料に当たらない位置で、ストッパプレートを材料に当て、スイッチを入れてください。
・ 回転が安定したらソーブレードに衝撃がかからないようソーブレードをゆっくりと、材料に近づけ切り込んでください。切断は、本機の自重か、軽く押し付ける程度で行ってください。
・ 切り終えるときは、本機を持ち上げ気味にゆっくり切り終えてください。





注

・ 本機を長時間使用しない場合は、ソーブレードを取りはずしてください。

保守・点検について

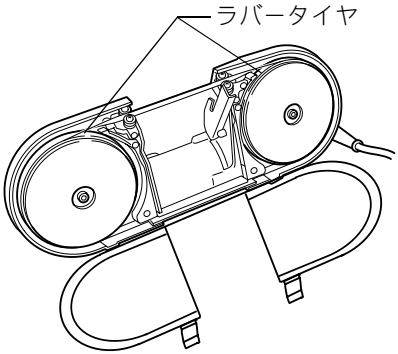
⚠警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
・ プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

⚠注意

ラバータイヤについたワックスや切り屑等は、乾いた布等でよく拭き取ってください。
・ ソーブレードがスリップしたり、はずれたりし、けがの原因になります。

・ ラバータイヤは、定期的に点検してください。
・ ワックスや切りくずの除去等清掃してください。



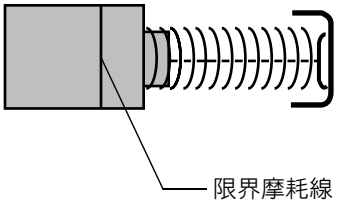
ラバータイヤの交換

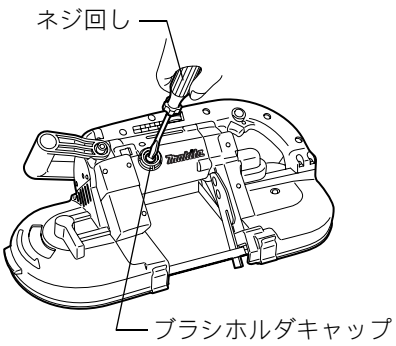
・ ラバータイヤが摩耗し、ソーブレードがスリップしやすくなったり、はずれやすくなった場合や、モータ側のラバータイヤのリップ部分が破損した場合は、ラバータイヤの交換が必要です。
・ ラバータイヤの交換は、お買い求めの弊社登録販売店または裏面掲載の直営事業所にお申しつけください。

保守・点検について

カーボンブラシの交換

- カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず弊社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2 個で1 組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。





ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めの弊社登録販売店または裏面掲載の直営事業所にお申しつけください。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
埼玉支店	〈048〉(771) 3462
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0478〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431

事業所名	電話番号
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(25) 4696
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(571) 6451
名古屋営業所	〈052〉(571) 6451
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
四日市営業所	〈0593〉(51) 0727
津営業所	〈059〉(232) 2446
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184
大阪支店	〈06〉(6351) 8771
大阪営業所	〈06〉(6351) 8771

事業所名	電話番号
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(841) 2201
高松営業所	〈087〉(841) 2201
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。

882205A2

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）